

## 「市立川崎病院におけるスマート化の基本方針」(案) に対するパブリックコメント実施結果

本市では、市立川崎病院における施設の長寿命化やエネルギー需給の高効率化、エネルギーセキュリティの向上、ICTの活用による医療の質の向上などの取組を「スマート化」として総合的に推進することとし、「市立川崎病院におけるスマート化の基本方針」(案)を取りまとめ、平成27年2月12日から1か月間、市民の皆様の御意見を募集しました。

その結果、7通(意見総数16件)の御意見をいただきましたので、御意見の内容及びそれに対する本市の考え方を次のとおり公表いたします。

### 1 意見募集の概要

題名	「市立川崎病院におけるスマート化の基本方針」(案)
意見の募集期間	平成27年2月12日から平成27年3月13日まで
意見の提出方法	電子メール、FAX、郵送、持参
募集の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市政だよりへの掲載(2月21日号)</li> <li>○本市ホームページへの掲載</li> <li>○報道発表</li> <li>○庁内各所に閲覧資料を設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさき情報プラザ(市役所第3庁舎2階)</li> <li>・各区役所(市政資料コーナー)</li> <li>・市立川崎病院事務局庶務課</li> <li>・病院局経営企画室</li> </ul> </li> </ul>
結果の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本市ホームページへの掲載</li> <li>○庁内各所に閲覧資料を設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさき情報プラザ(市役所第3庁舎2階)</li> <li>・各区役所(市政資料コーナー)</li> <li>・市立川崎病院事務局庶務課</li> <li>・病院局経営企画室</li> </ul> </li> </ul>

### 2 結果の概要

意見提出数(意見件数)	7通(16件)
電子メール	2通(3件)
FAX	1通(4件)
郵送	2通(4件)
持参	2通(5件)

### 3 御意見に対する市の考え方の区分

- A：御意見の趣旨を踏まえ、方針に反映させるもの
- B：方針（案）の趣旨に沿った意見であり、御意見を踏まえ取組を推進するもの
- C：今後のスマート化を進めていく中で参考とするもの
- D：方針（案）に対する質問・要望の御意見であり、内容を説明・確認するもの
- E：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる御意見）

項目	市の考え方の区分（件数）					計
	A	B	C	D	E	
(1) 防災機能の強化に関する事		2	2			4
(2) エネルギー利用に関する事			4			4
(3) ICT化の推進に関する事		1	1			2
(4) 受診環境の向上に関する事		2	1			3
(5) その他					3	3
合計		5	8		3	16

### 4 御意見の内容とその対応

お寄せいただいた御意見は、「基本方針」（案）の趣旨に沿ったものや、今後のスマート化推進の上で参考とすべきものであったことから、当初案のとおりスマート化の基本方針を策定します。

### 5 御意見に対する市の考え方

#### (1) 防災機能の強化に関する事

番号	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
1	「川崎市地震被害想定調査報告書」による津波の被害に関する記載があるが、平成27年2月27日に神奈川県が発表した相模トラフ地震による津波被害想定の見直しを反映した方がよいのではないか。	「最大クラスの津波による浸水予測の見直し結果」が神奈川県から示されましたが、相模トラフ沿いの海溝型地震では、川崎病院で0.3～1.0mの浸水が見込まれているものの、発生間隔が2千年から3千年と非常に長く、本市における防災上の位置付けも現在検討中です。一方、多摩川の氾濫では200年に1度の可能性で1.0～2.0mの浸水が想定されており、より大きなリスクが見込まれることから、併せて対策を講じてまいります。	B

番号	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
2	何かあったときに頼りになるのはやはり市立病院なので、災害に強い病院になるよう地震対策（耐震）にも留意してほしい。	川崎病院は災害医療拠点病院として既に耐震構造を有していますが、災害時においても事業が継続できるよう、災害時のエネルギー確保策なども検証・検討し、災害に強い病院づくりを進めてまいります。	B
3	災害等による停電時においても病院機能を維持する（P6、1行目）ということであるが、停電だけでなく全てのインフラが停止した場合にも備えることが適切と考える。	防災機能を強化する上で、あらゆるインフラの停止に備えておく必要があることは御指摘のとおりですので、スマート化の一環として今後、中長期保全計画やE S C O事業導入計画を作成していく中で、その視点も踏まえて検討してまいります。	C
4	熱源設備を更新する際の災害時の機能強化として、給水インフラの影響を受けずに設備機器の冷却を行うことが可能な空気冷却方式など、単純化されたシステム構成が有効である。	今後のスマート化の取組の中で、御指摘の点も踏まえ、安全性や効率性などの観点からエネルギー供給設備の効果的な更新方法を検討してまいります。	C

## （2）エネルギー利用に関すること

番号	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
5	コージェネレーション・システム（P6）は、熱と電気の併給システムであるため、熱と電気両方を有効活用するにはバランスが要求される。災害時のBCP電源として導入する傾向があるが、「系統電力（電力会社から買う電力）＋非常用発電機」の組み合わせが一番効率的であり、災害復旧も短時間で行える。	電源のあり方については、今後、熱源設備の更新に向けて、安全性や効率性などの観点から最適な組み合わせを検討してまいります。 なお、川崎病院では現在、停電発生から非常用発電機が起動するまでの間にも電力供給を継続できるよう、平常時から系統電力の供給と併せて、コージェネレーション・システムを常時稼働させているところです。	C

番号	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
6	<p>エネルギー供給設備の更新（P11②）に当たっては、光熱費の節減のためガス代、電気量の比率を見直し、ヒートポンプシステムによる未利用エネルギーの活用や夜間電力を活用した蓄熱システムなど、エネルギーの効率的な利用と災害時の生活用水確保に寄与するシステムを積極的に検討することが有効と考える。</p>	<p>現在、エネルギー関連事業者から最新の技術による様々な省エネ設備やシステムが考案されておりますので、そうした情報の収集にも取り組みながら、安全性・効率性などの観点から最適な設備の更新方法を検討してまいります。</p>	C
7	<p>E S C O 事業導入計画（P11②）においては、コージェネレーション・システムの核となるガスエンジンを最新の高効率なものへ更新することで、一層の省エネ、コスト削減とともに防災機能の強化につながるものとする。</p>	<p>現在、エネルギー関連事業者から最新の技術による様々な省エネ設備やシステムが考案されておりますので、そうした情報の収集にも取り組みながら、安全性・効率性などの観点から最適な設備の更新方法を検討してまいります。</p>	C
8	<p>設備更新計画においては、E S C O 事業だけでなく、民間財源活用によるイニシャルコストの平準化や、保守点検業務、更新計画立案等を含めてアウトソーシングするエネルギーサービスなど、選択肢を広げることで財政的にも最適な事業スキームが選定できると考える。</p>	<p>E S C O 事業の契約方式には、導入事業者自身で資金を調達するギャランティードセイビングス方式のほかに、E S C O 事業者が資金を調達することで導入事業者のコストを平準化できるシェアードセイビングス方式がありますので、今後のE S C O 事業導入計画を作成する過程において、財政的な見通しとともに、コストの平準化やトータルコストなどを考慮しながら検討してまいります。</p> <p>また、御提案のようなエネルギーサービスなども含めて、安全性や経済性に配慮しながら、最適な設備更新方法とその後の管理・運営方法について検討してまいります。</p>	C

(3) ICT化の推進に関すること

番号	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
9	<p>様々なパソコン機器を導入するのは結構であるが、高齢者には難しいものも多いので、操作説明にも留意してもらいたい。</p>	<p>ICT化の一環として今後、院内 Wi-Fi の整備や電子お薬手帳サービスの導入など、スマートフォン等のデジタル端末を活用した取組を検討してまいりますので、その際には電子機器の操作に不慣れな方でも快適に御利用いただけるよう、分かりやすい御案内の設置や職員による丁寧な操作説明などにも配慮してまいります。</p>	B
10	<p>ICT を活用した取組 (P12) として、川崎病院内に「スマートメディカルセンター」を設置することを提案する。市民は検査キットで自己採取した検体を病院に送付し、病院は検査結果をサーバー上で保管し、携帯端末やパソコン等で患者本人や関係機関と情報共有を図ることで、精密検査による病気の早期発見・治療につなげるシステムが構築できる。これにより医療費の削減にも寄与し、長寿命社会に備えることができる。</p>	<p>「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」(平成26年9月厚生労働省)では、質の高い医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築のためには、医療・介護サービス利用者も含めた関係者間での適時・適切な情報共有が不可欠であり、ICTの活用はその有効な手段とされています。検査データ等の情報共有策については、市立病院としての役割を踏まえつつ、御提案の仕組みも含め、今後の国や本市における保健行政の動向等を注視しながら、適切に対応してまいります。</p>	C

(4) 受診環境の向上に関すること

番号	意見内容 (要旨)	意見に対する市の考え方	区分
1 1	環境への配慮や経営への視点が先行してしまい、冷暖房の効きが悪いとか、照明が暗いなど、患者への配慮が置き去りにならないか心配である。患者が安全性や快適性を実感できる「明るく魅力ある病院」となるよう、患者目線での取組をしてもらいたい。	外来受診や入院時において、待合環境の整備やスムーズな受診案内、療養時の情報提供等といった利用環境の向上に向けた取組を進めることにより、患者さんが安心して治療に専念できる環境を整備してまいります。	B
1 2	照明については、現在、病院内が暗く感じるのを、是非明るくなるように検討してほしい。	節電のため、御不便をおかけしない範囲で間引き照明を実施しておりますが、今後、スマート化を推進していく中で、LEDをはじめとした高効率照明の導入を進め、「明るく魅力ある病院づくり」に取り組んでまいります。	B
1 3	小児科のクリニックなどでやっているように、スマートフォンから診察待ちの順番が分かるシステムを導入してほしい。	スマートフォン等を利用して外来の待ち状況を把握するシステムは、待ち時間対策として有効な手法の一つと考えておりますので、院内のアンテナ設置やシステム構築と、そこから発する電波による医療機器への影響なども考慮しながら、今後スマート化を推進していく中で調査・検討してまいります。	C

(5) その他

番号	意見内容 (要旨)	意見に対する市の考え方	区分
1 4	近頃はパソコンの画面ばかり見ている医師も見受けられるが、人と人とのつながりも大切であることを忘れないでほしい。	医療を行う上で患者さんとのコミュニケーションは非常に重要ですので、今後ICT化を推進していく上で、タブレット端末の導入など、丁寧で分かりやすい説明やコミュニケーションの充実・円滑化に資する取組も併せて検討してまいります。	E

番号	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
15	川崎病院の職員の対応が不親切であったので、接遇のレベルアップを図ってほしい。	適切な医療を行うには、医療技術だけではなく、職員と患者さんとのコミュニケーションが円滑に行われることが非常に重要ですので、今後とも院内での接遇研修や管理監督者による接遇指導などにより、接遇改善に向けて取り組んでまいります。	E
16	川崎病院の敷地内にある保育園に一時的に子どもを預かってもらえないのか。	川崎病院の院内保育園は、医師・看護師をはじめとする医療従事者の離職防止及び定着の促進を図ることを目的とした「神奈川県内の院内保育事業運営費補助事業」の一環として運営しているものであり、患者さんのお子さんをお預かりすることはできません。	E